

坂本町を舞台にした映画が完成

『あの子の夢を水に流して』



令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた坂本町をはじめ、球磨川流域を舞台にした映画が完成しました。八代市出身の遠山昇司監督が故郷の豪雨災害を受けて制作した新作映画です。球磨川を舞台に「生命」をめぐる物語が描かれています。全国公開に先駆けて、12月2日(金)に熊本県で先行公開され、3日(土)に桜十字ホールやつしろで上映会が開催されます。

【作品概要】

生後10カ月の息子を亡くした瑞波は、10年ぶりに故郷である熊本・八代に帰省する。幼馴染の恵介と良太に久しぶりに再会した瑞波は、3人で豪雨災害による傷跡が残る球磨川を巡り始める。



遠山昇司 監督
(八代市出身)

五家荘を舞台にした短編映画「冬の蝶」(2016年)で、テヘラン国際短編映画祭アジア・コンペティション部門グランプリを受賞

遠山監督インタビュー

令和2年7月豪雨災害の発災時、東京にいた私は、水害のニュースを見て、心が締め付けられる思いをしました。その後熊本に帰る機会があり、傷跡が残る球磨川流域を巡っている中で、豪雨災害を風化させてはいけない、今の状況を伝えたいと、映画を撮影することを決意しました。もともと坂本町などの球磨川の風景は好きだったのですが、撮影する中で、坂本町にはこんな良い風景があるんだと、感動しました。美しい坂本町の風景と、出演者の生き生きとした演技を皆さんに見ていただきたいです。



坂本町の復興への歩み | 4

～球磨川橋梁復旧に向けて～

坂本橋・鎌瀬橋・大瀬橋・松本橋・沖鶴橋の建設工事が始まります

令和2年7月豪雨で流失してから、仮橋となっている坂本町の坂本橋、鎌瀬橋などの建設開始にあたり、12月4日(日)午前9時30分から旧グリーンパークさかもとで着工式が行われます。



●坂本橋

路線名：主要地方道 坂本人吉線
復旧位置：元の位置から約150m 上流側
橋梁形式：鋼2径間連続トラス橋
橋長：約160m

●鎌瀬橋

路線名：国道219号
復旧位置：元の位置の直近下流側
橋梁形式：鋼単純アーチ橋(ニールセンローゼ桁)
橋長：約200m



※色彩などは今後、関係者と協議して決定されます。

10月12日 消防ポンプ格納庫扉の作画完成引き渡し式



八代市消防団坂本方面隊第3分団が八代工業高校に依頼していた、消防ポンプ格納庫の扉絵の作画が完成し、

お披露目されました。坂本町の復興への願いを込めて扉絵には、カワセミや鮎、蒸気機関車が鉄橋を走る姿などが描かれています。

10月30日 JR復旧を願う除草作業

JR肥薩線の復旧を願って、線路上の除草作業が坂本町で行われ、坂本住民自治協議会やJRのOB会、ボランティアなど約150人が参加しました。作業は段駅周辺と葉木駅周辺の約5kmにわたって手作業と草刈機を使って行われました。

